

目次

スタートアップガイド — 2 >

起動画面 — 12 >

画面構成 — 13 >

基本画面 — 14 >

設定画面 — 15 >

音場設定 — 16 >

デバイス設定 — 17 >

ミックス設定 — 18 >

CH(チャンネル) 設定 — 19 >

Crossover 設定 — 20 >

タイムアライメント設定 — 21 >

EQ 調整 — 22 >

メモリー操作 — 23 >

その他設定 — 24 >

システム設定 — 25 >

付属リモコンの使い方
(DEQ-7000A) — 26 >

更新履歴 — 27 >

「車種専用セッティングデータ」のダウンロードはこちら

I. 車種専用チューニングデータを使用する場合

代表車種のセッティングデータを読み込むことができます。

あらかじめホームページより設定ファイルをダウンロードしておきます。

システム設定の"デバイス設定を端末から読込" ➡ "設定を読み込む"より、ダウンロードした「xxx.bin」※ファイルを選択することで、車種専用チューニングを反映することができます。

※ "xxx"の部分は車両データごとに異なります。

※ 車種専用セッティングデータはドライバーポジションでの音響チューニングになっております。

※ 現在の設定データが上書きされます。

必要に応じて、"デバイス設定を端末へ保存"から、設定データを保存することをお勧めします。

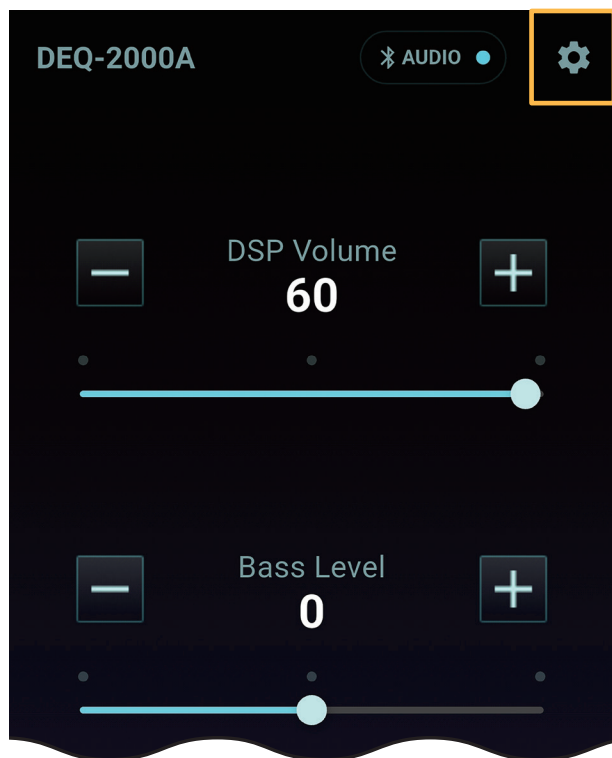


Ⅱ. 車種専用チューニングデータを使用しない場合

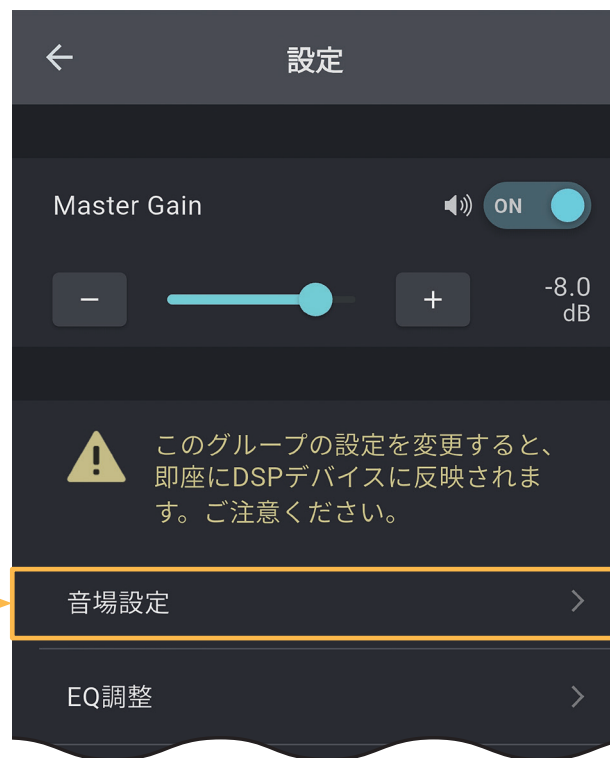
1. デバイスの設定

デバイス設定のメインユニット選択でメインユニットとの接続方式を選択します。[初期値：スピーカー入力]

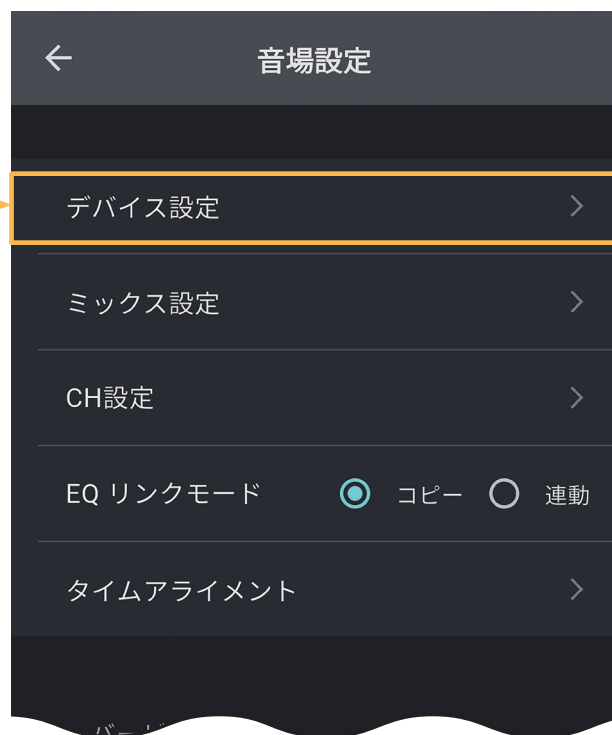
※ パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキを使用している場合にのみ、設定画面に移ることができます。



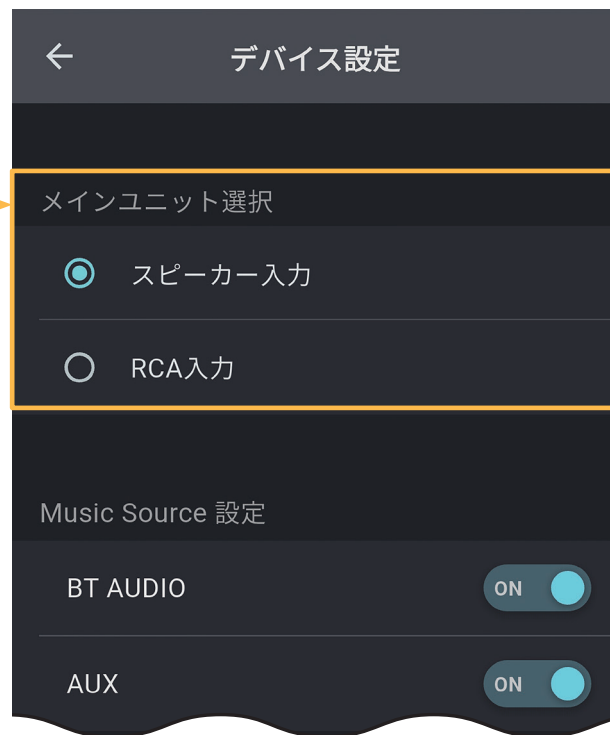
【基本画面】



【設定画面】



【音場設定画面】



【デバイス設定画面】

2. ミックス設定

ミックス設定画面で各入力の出力チャンネル割り当てを設定します。

[Main unit 初期値：Input CH1(100 %) → Out 1

Input CH2(100 %) → Out 2

Input CH3(100 %) → Out 3

Input CH4(100 %) → Out 4

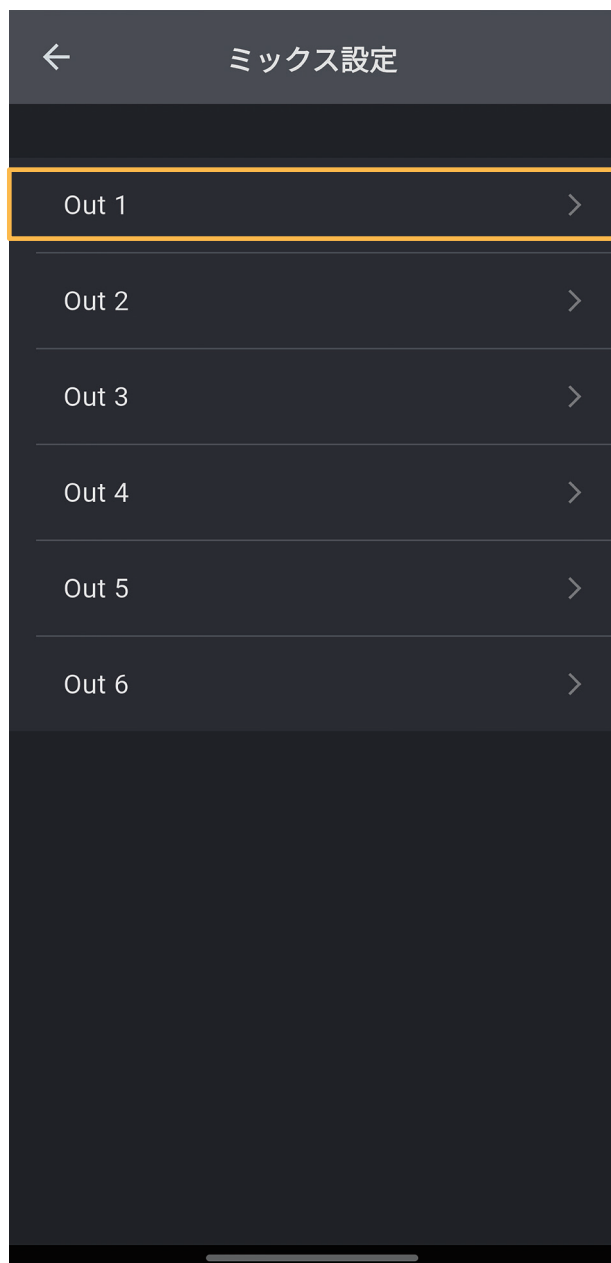
DSP Source 初期値：Input L(100 %) → Out 1, Out 3

Input R(100 %) → Out 2, Out 4]

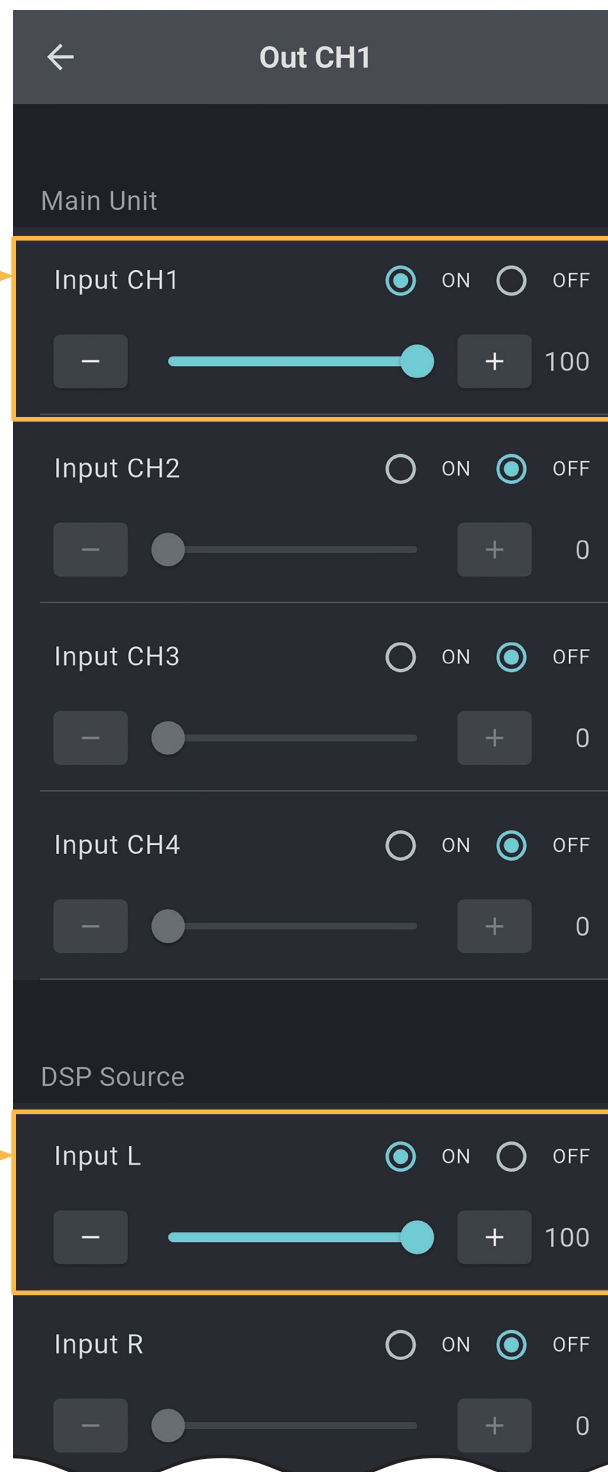
《Out1の例》

Main unit：Input CH1を100 %

DSP Source：Input Lを100 % に設定



【ミックス設定画面】



【各Output CHの設定画面】

3. スピーカー設定のアサイン

各CHごとに接続しているスピーカーの種類を設定します。

サブウーファーなどを追加する場合は、CH5、CH6に設定することをお勧めします。

その際は、前項2.のミックス設定でOut 5、Out 6にInputを割り当ててください。

Bass Levelの調整はCH5、CH6のみ連動します。

[初期値：CH 1 - Front L フルレンジ

CH 2 - Front R フルレンジ

CH 3 - Rear L フルレンジ

CH 4 - Rear R フルレンジ]



【音場設定画面】



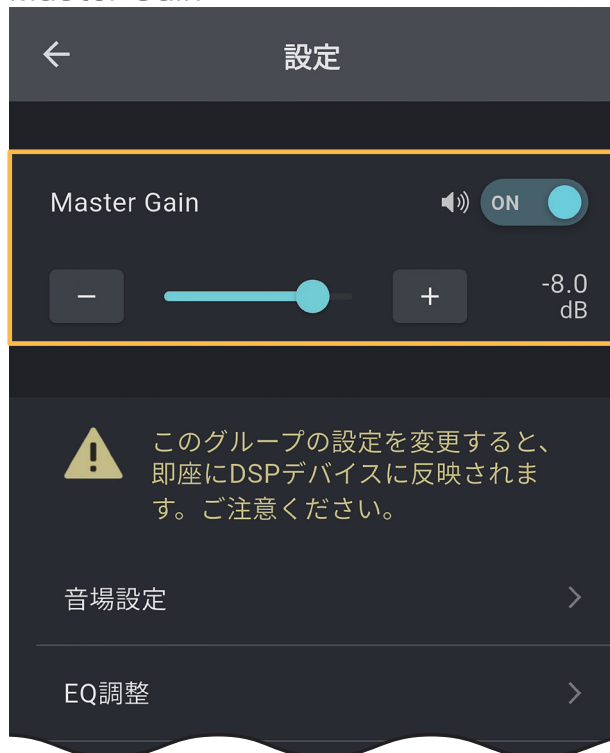
【CH設定画面】

4. ゲイン設定

ゲインの設定をします。

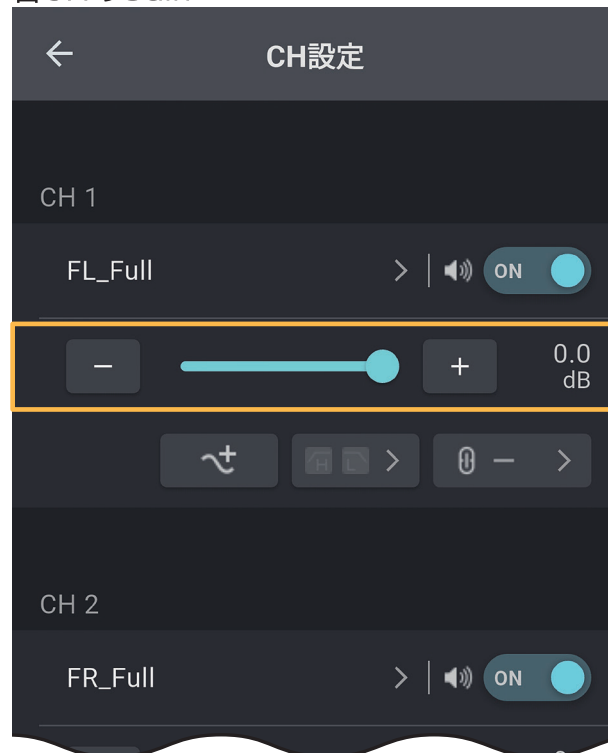
- ・ Master Gainはシステム全体のゲインを調整できます。
車両起因のノイズが聞こえる場合は、ゲインを下げてご使用ください。[初期値：－8.0 dB]
- ・ 各CHのGainを調整できます。[初期値：0.0 dB]
- ・ DSP VolumeはDSPソース(Bluetooth、AUX)の音量を調整できます。[初期値：0]

Master Gain



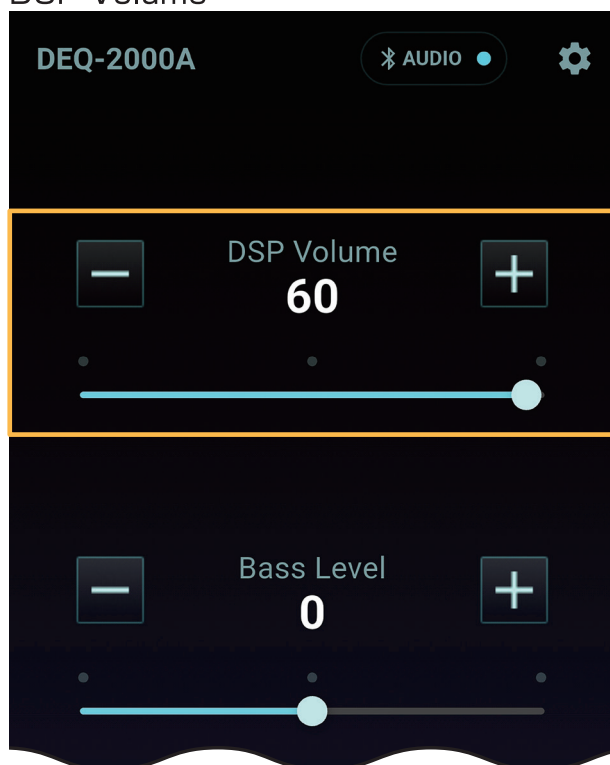
【設定画面】

各CHのGain



【CH設定画面】

DSP Volume

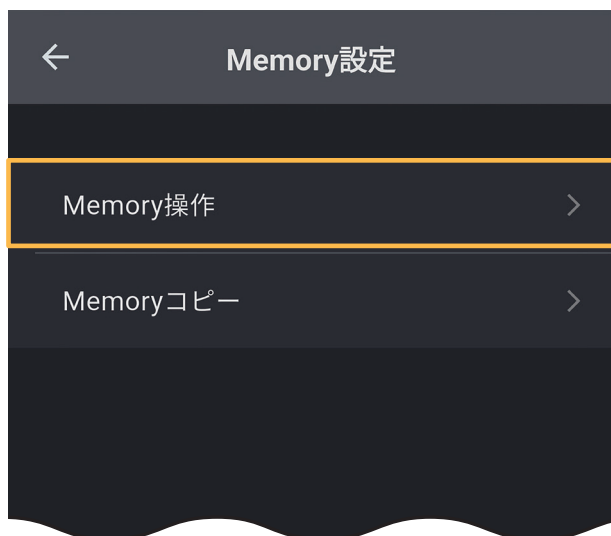


【基本画面】

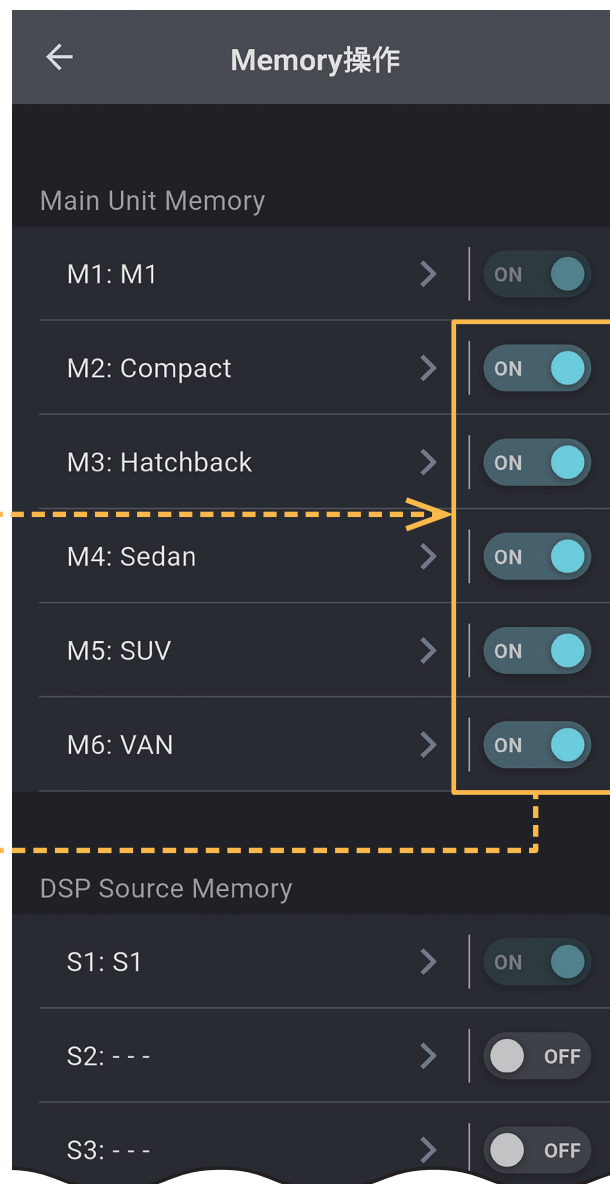
5. メモリー設定

車両形状別のチューニングデータを使用できます。

デバイス設定のメモリー設定画面でお好みのチューニングデータを有効にすることで、メイン画面にてチューニングデータを選択できるようになります。



【Memory設定画面】



【Memory操作画面】



【基本画面】

6. その他の設定

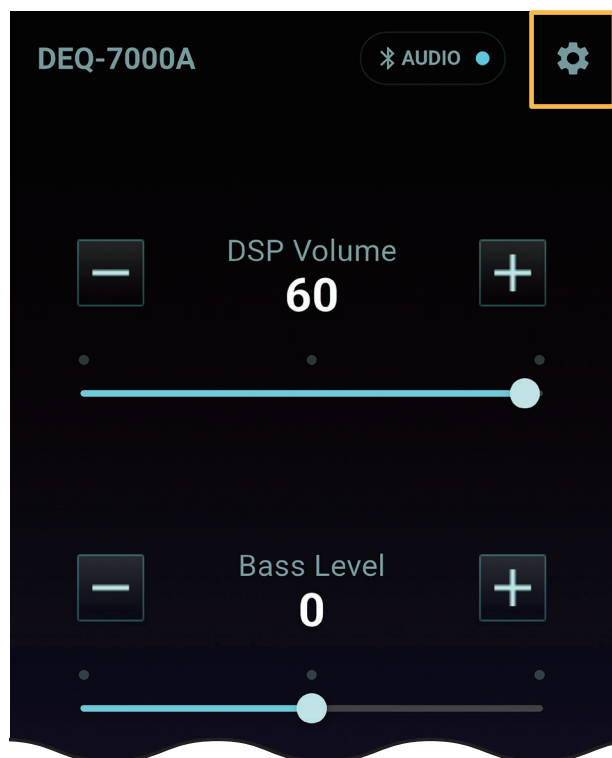
お好みでPresetEQ、31バンドEQ、タイムアライメントなどの調整を行ってください。

スタートアップガイド ～DEQ-7000A～

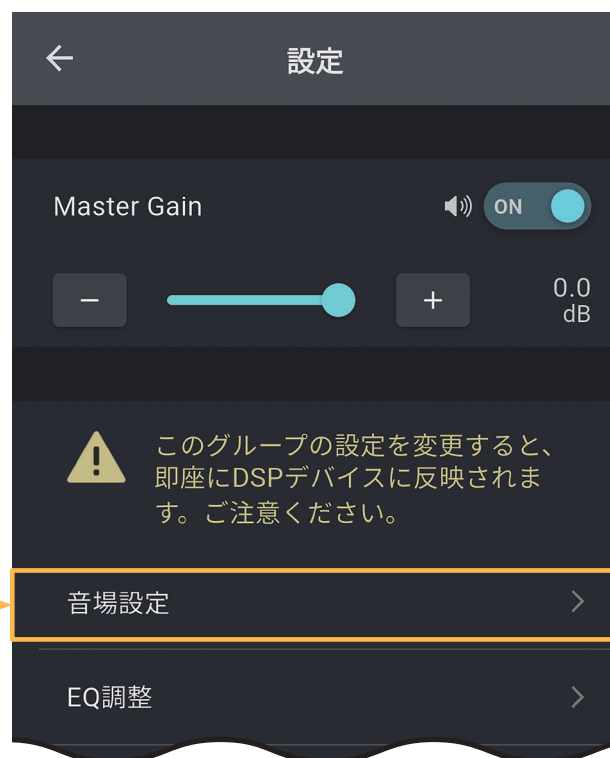
1. デバイスの設定

デバイス設定のメインユニット選択でメインユニットとの接続方式を選択します。[初期値：スピーカー入力]

※ パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキを使用している場合にのみ、設定画面に移ることができます。



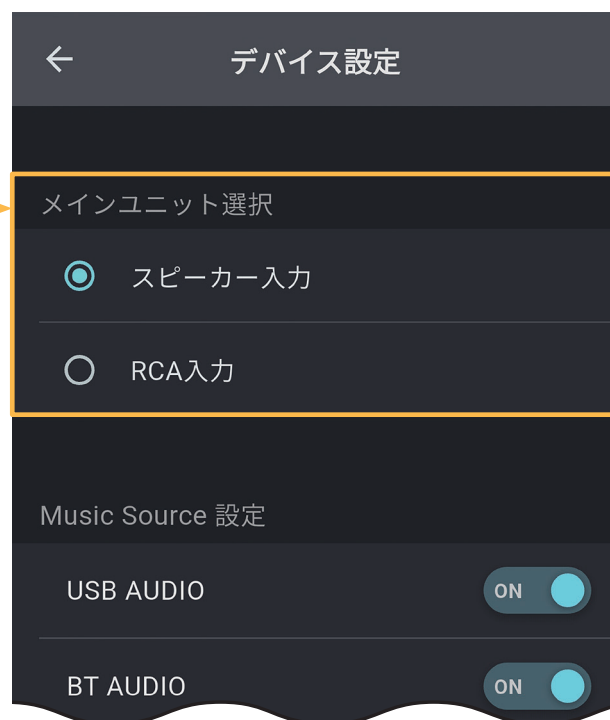
【基本画面】



【設定画面】



【音場設定画面】



【デバイス設定画面】

2. ミックス設定

ミックス設定画面で各入力の出力チャンネル割り当てを設定します。

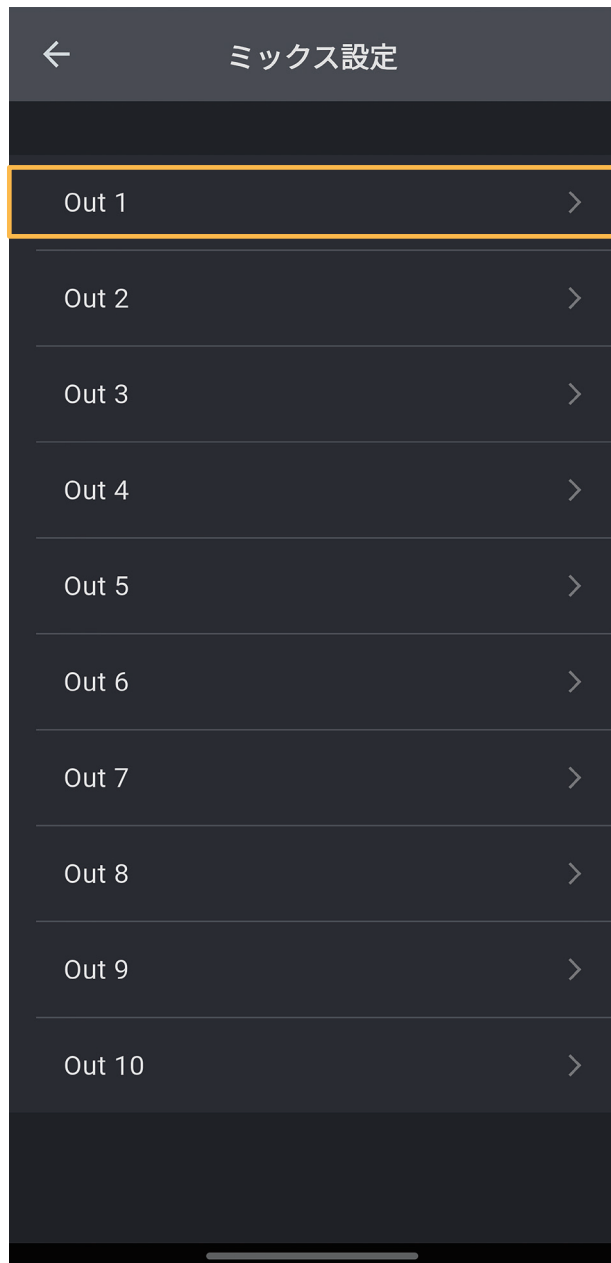
[Main unit初期値：全CH割り当て無し]

DSP Source初期値：全CH割り当て無し]

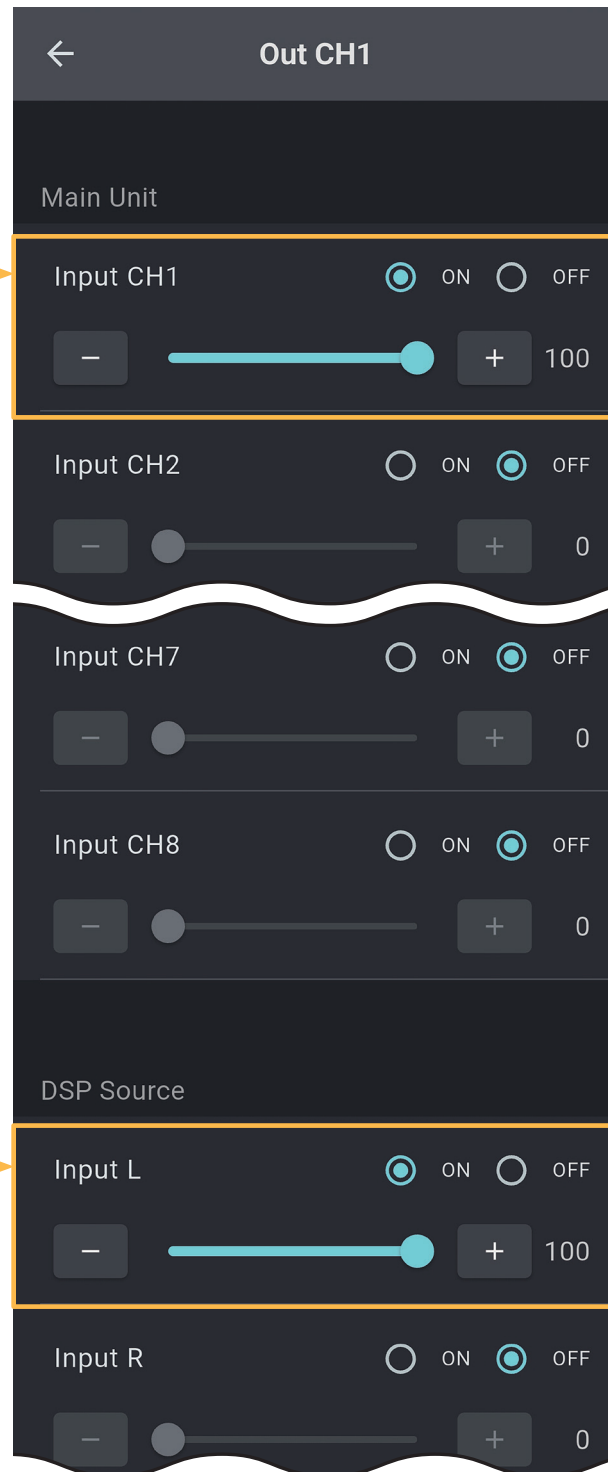
《Out1の例》

Main unit：Input CH1を100 %

DSP Source：Input Lを100 % に設定



【ミックス設定画面】



【各Output CHの設定画面】

3. スピーカー設定のアサイン

各CHごとに接続しているスピーカーの種類を設定します。

サブウーファーなどを追加する場合は、CH 9、CH 10に設定することをお勧めします。

その際は、前項2.のミックス設定でOut 9、Out 10にInputを割り当ててください。

Bass Levelの調整はCH 9、CH 10のみ連動します。

[初期値：全CH割り当て無し]

《設定の一例》



【音場設定画面】



【CH設定画面】

4. ゲイン設定

ゲインの設定をします。

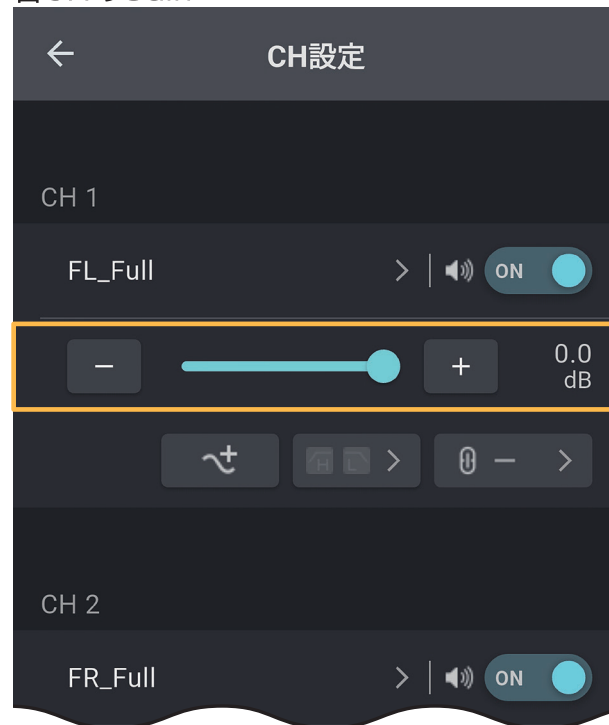
- ・ Master Gainはシステム全体のゲインを調整できます。－8.0 dB程度から調整することをお勧めします。
車両起因のノイズが聞こえる場合は、ゲインを下げてご使用ください。[初期値：－60.0 dB]
- ・ 各CHのGainを調整できます。[初期値：0.0 dB]
- ・ DSP VolumeはDSPソース(USB、Bluetooth、SPDIF、AUX)の音量を調整できます。[初期値：0]

Master Gain



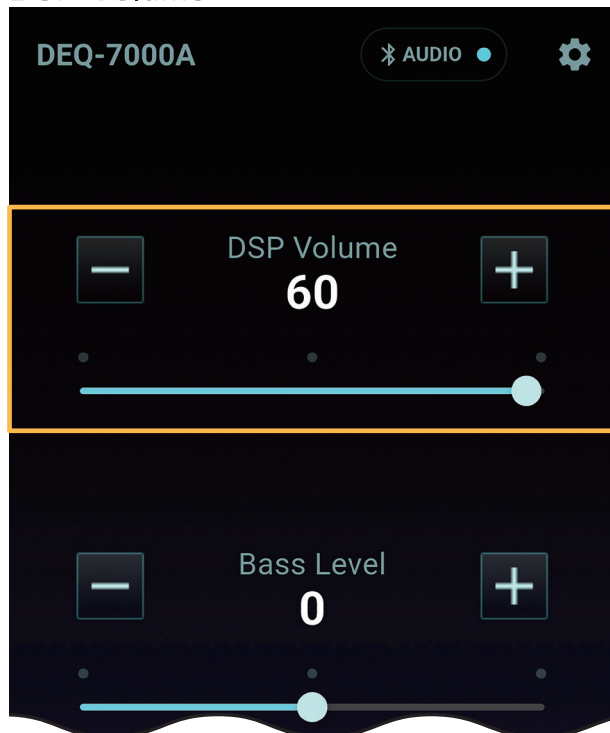
【設定画面】

各CHのGain



【CH設定画面】

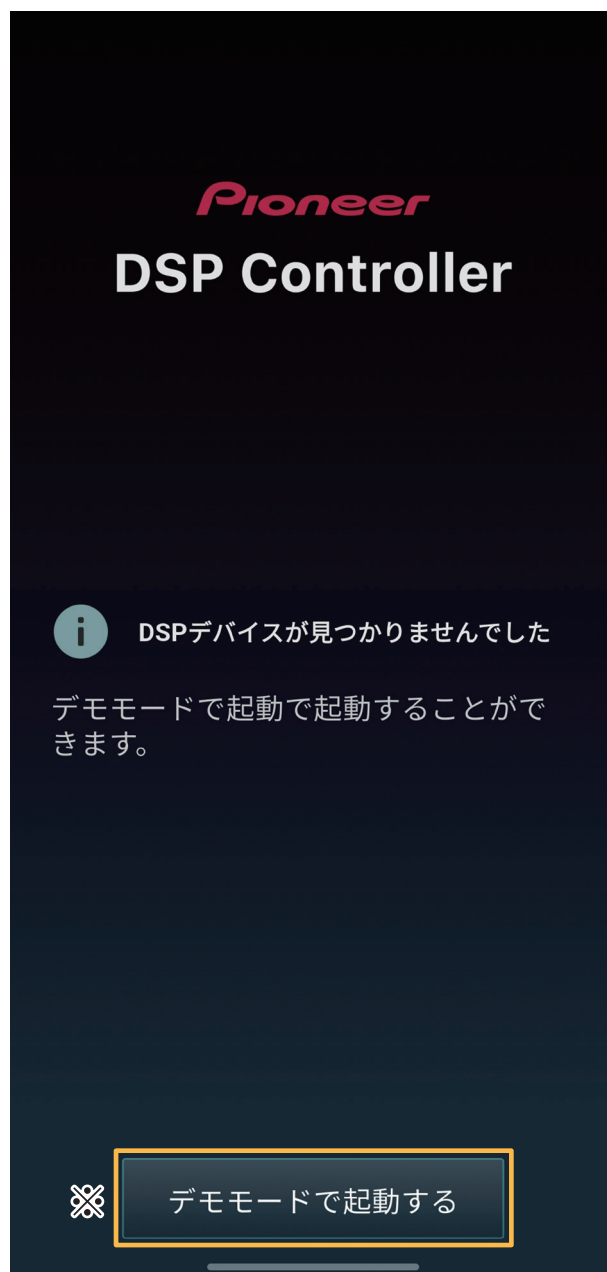
DSP Volume



【基本画面】

5. その他の設定

お好みでPresetEQ、31バンドEQ、タイムアライメントなどの調整を行ってください。



起動画面にてDSP本体と接続します。

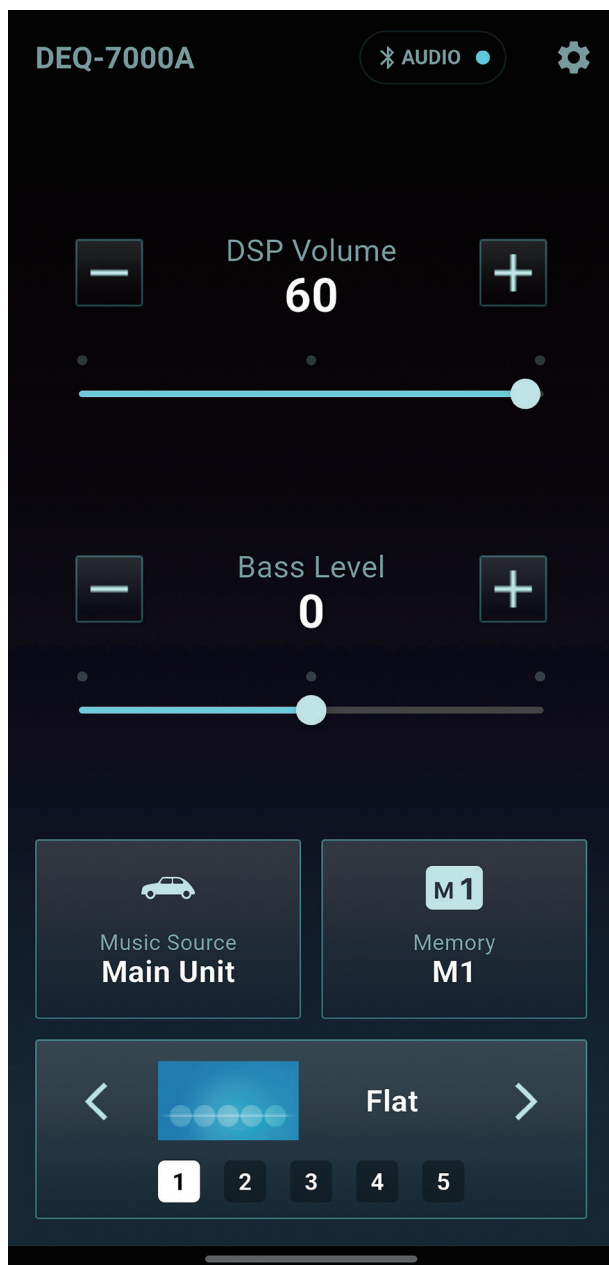
① 接続する機種を選択

接続する機種名を選択してください。

② 接続するをタッチします

基本画面へ移行します。

※ 近くにDSP本体が見つからない場合、デモモードで起動することができます。



【基本画面】

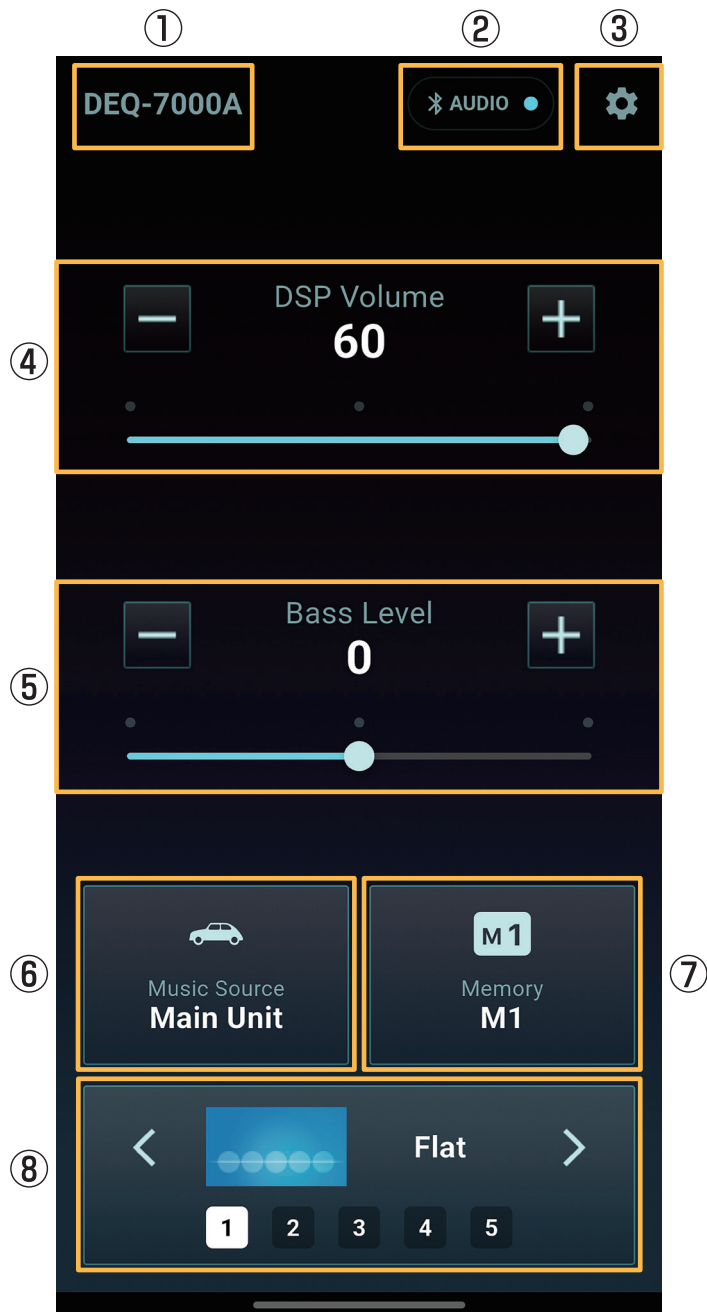


【設定画面】

基本画面でリモコンのように基本操作を行うことができます。
設定画面で詳細なオーディオエフェクトの調整ができます。
画面右上の歯車マークを押すことで設定画面に移動できます。

取扱い上のご注意

- ・ 運転中の操作は行わないでください
- ・ 設定画面での調整機能を最大限活用するためには、カーオーディオの専門知識が必要です



【基本画面】

① 接続機器表示

接続されている機種を表示します。

② Bluetoothオーディオ用ペアリング

DSP本体とBluetoothオーディオ機器を接続する際にペアリングするボタンになります。

③ 設定画面への移行^{※1}

オーディオエフェクトを調整するための画面に移動します。

④ DSP Volume調整

入力されているDSPソース^{※2}のボリュームを調整できます。(0～62)

⑤ Bass Level調整

各モデル毎に割り当てられているCH^{※4}の低音レベルを調整できます。(－8～＋8)

⑥ Music Source選択

デバイス設定中のMusic Source設定で有効にしているMusic Sourceへの切り替えができます。

⑦ メモリー選択

設定値を保存したメモリー選択が行えます。

＜メモリーに保存される設定＞

- －各CHのGain
- －31バンドEQ
- －タイムアライメント
- －各CHの位相
- －各CHのGain

＜メモリー共通設定＞

- －ミックス設定
- －HPFおよびLPF設定
- －Preset EQ
- －Master Gain
- －各CH出力のON/OFF設定
- －Master GainのON/OFF設定
- －ソースレベル調整

※最後に設定した値が保存されます。

⑧ プリセットEQ選択

音響効果を簡単に付与できます。

[Flat、S.Bass、Powerful、Vocal、Natural]
5段階のレベル調整が可能です。

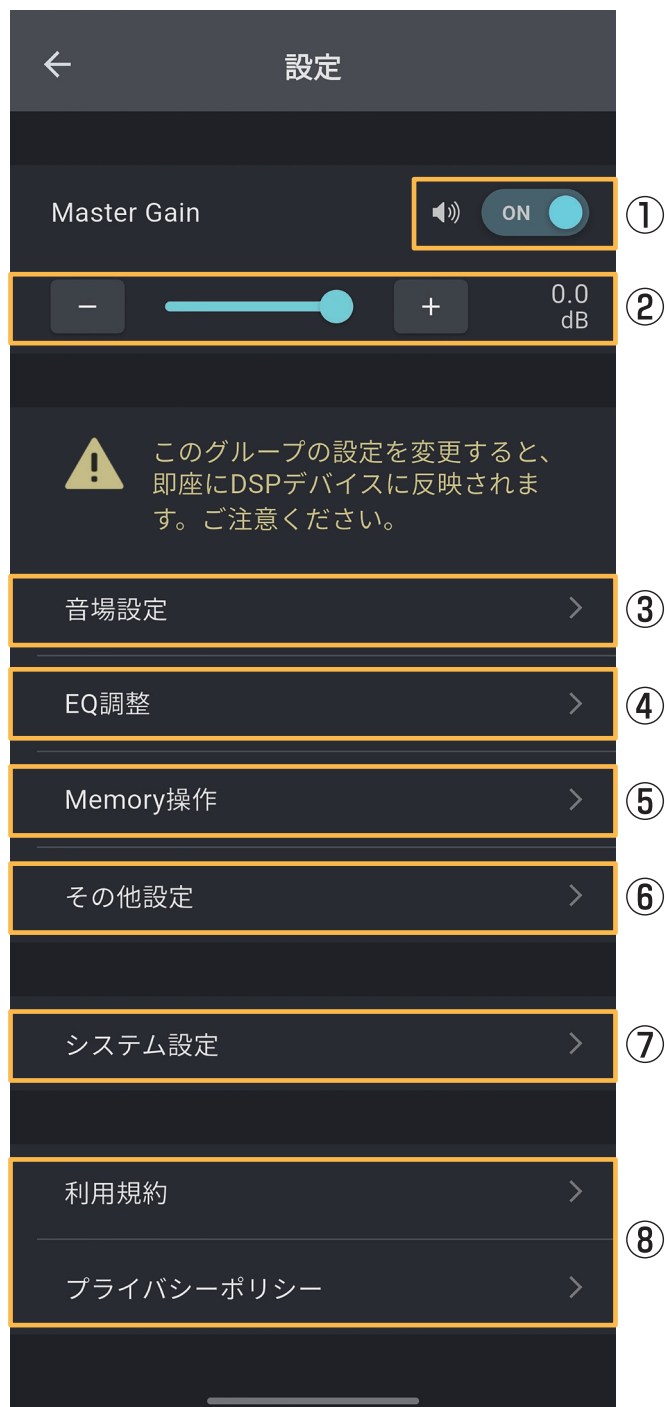
※1 設定画面はパーキングブレーキが有効になっている場合に選択できます。

パーキングブレーキ線の接続に関しては取扱説明書をご確認ください。

※2 DSPソースとはメインユニットを除く外部ソース(Bluetooth、USB Audio、SPDIF、RCA^{※3})を示します。

※3 RCAは"デバイス設定"画面のメインユニット選択で"スピーカー入力"を選択した場合のみ有効になります。

※4 DEQ-7000AはCH9およびCH10、DEQ-2000AはCH5およびCH6が固定で割り当てられています。



【設定画面】

- ① **Master Gain ON/OFF ボタン**
Master Gain(メインユニット用を含めたシステム全体のゲイン)にミュートをかけることができます。
- ② **Master Gain調整ボタン**
Master Gainの調整を行うことができます。
- ③ **音場設定**
音場設定の基本となる設定を変更するための画面に移動します。
- ④ **EQ調整**
EQを調整するための画面に移動します。
- ⑤ **Memory操作**
メインユニットまたはDSPソースごとにメモリー設定やコピーなどが行える画面に移動します。
- ⑥ **その他設定**
ソースレベル調整やナビミックス設定などの設定を行う画面に移動します。
- ⑦ **システム設定**
言語選択、デバイス設定の保存、ファームウェアアップデートに関する画面に移動します。
- ⑧ **使用許諾、プライバシーポリシー**
使用許諾やプライバシーポリシーの確認ができます。



【音場設定画面】

①

① デバイス設定

メインユニットの選択や各DSPソースのON/OFFを設定します。

②

② ミックス設定

各OUTPUT CHに対するINPUT CHのミキシングを設定します。

③

③ CH設定

各CHごとのスピーカー名、ゲイン、クロスオーバーを設定します。

④

④ EQ リンクモード

各CHごとのスピーカー名、ゲイン、クロスオーバーを設定します。

⑤

⑤ タイムアライメント

リンクモードを変更することができます。

⑥

⑥ EQ リンクモード

リンクモードを変更することができます。

EQ リンクモード ☒ コピー ☐ 連動

EQ リンクモード ☐ コピー ☒ 連動

コピーモード：

リンクしているCHのEQパラメータを全て同一にします。

連動モード：

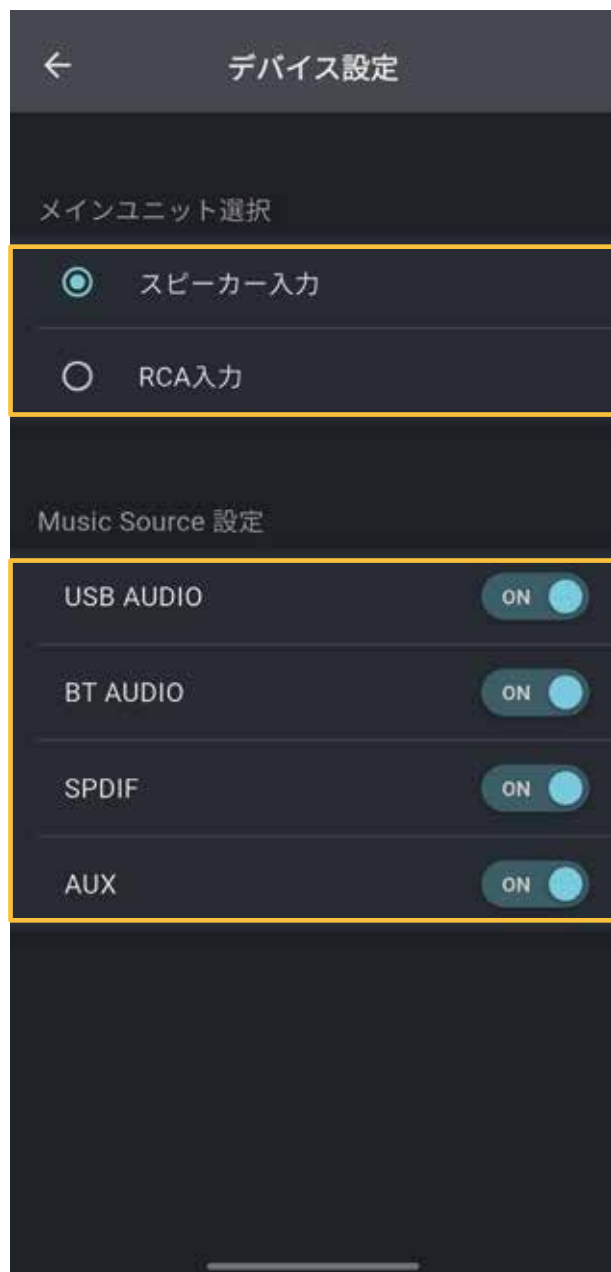
リンクしているCHの各バンドID同士の差分を維持したままゲイン値を調整できます。PEQの場合、周波数設定、Q値、PEQの種類は連動しません。

⑤ タイムアライメント

各CHのタイムアライメント(ディレイ値)を調整します。

⑥ オーバービュー

各CHごとに設定されたスピーカー名やHPF/LPFの有無などの情報を確認できます。



【デバイス設定画面】

①

① メインユニット選択

メインユニット信号の入力方法を選択します。

② DSPソースのON/OFF選択

各DSPソースの有効無効を選択できます。

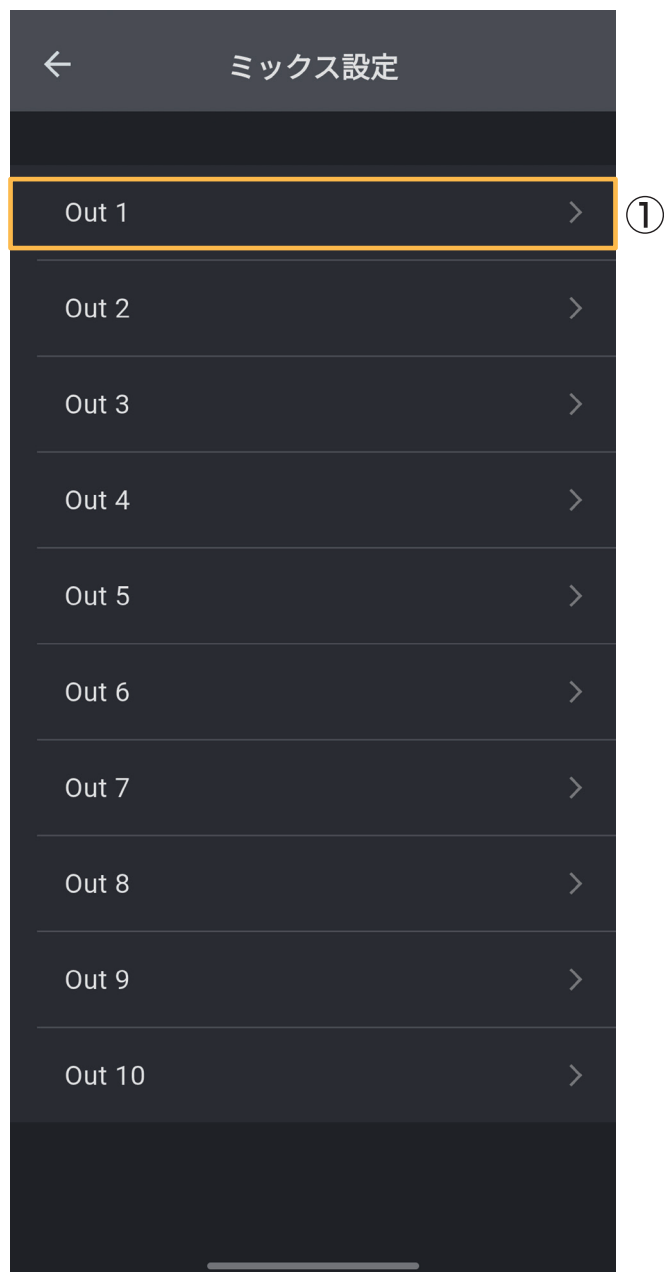
※ OFFに設定したソースはソース選択時に表示されません。

DEQ-7000Aのリモコン操作時はOFFに設定されたソースはソース選択時にスキップされます。

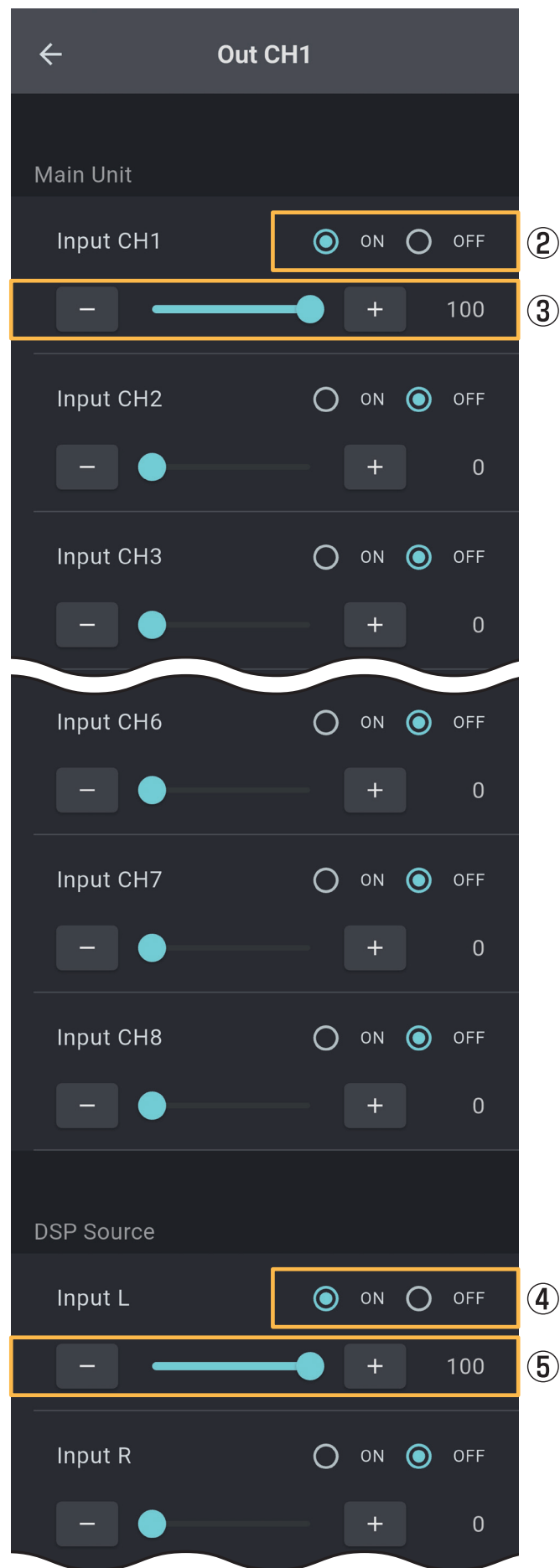
※ メインユニット選択でスピーカー入力を選択した場合、RCA入力端子(CH1、CH2)をAUXなどの外部アナログ入力端子としても使用できます。その場合、RCA入力端子(CH3、CH4)は無効になります。

RCA入力選択時はAUX入力としては使用できません。

本製品のUSB-Audioはすべての再生機器との動作を保証するものではありません。
お手持ちのDigital Audio Playerによって96 kHz / 24 bitを越える信号では再生できない場合があります。
再生できない場合には、SPDIF入力をお試ください。

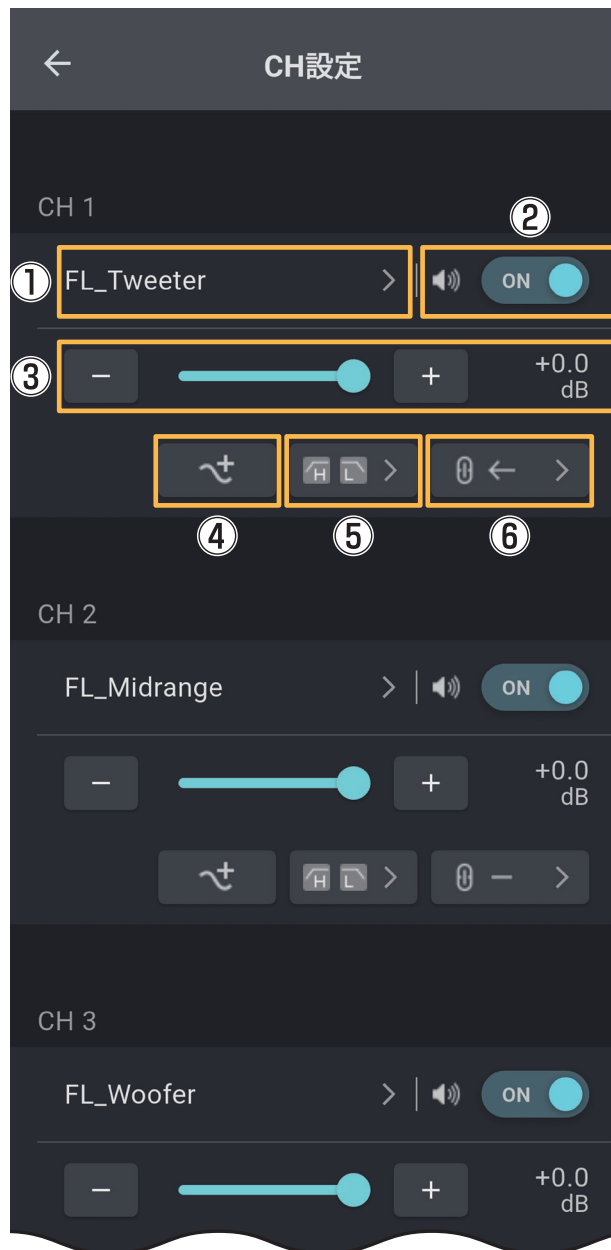


【ミックス設定画面】



【各 Output CH の設定画面】

- ① 各Output CHの設定画面へ移動
メインユニット信号の入力方法を選択します。
- ② Main UnitのInput信号の入力設定
割り当てるINPUT CHをONに設定します。
- ③ Main UnitのInput信号のミックスレベル調整
割り当てるInput信号のミックスレベルを調整します。
調整範囲：[0～100]
- ④ DSP SourceのInput信号の入力設定
割り当てるInput CHをONに設定します。
- ⑤ DSP Source信号のミックスレベル調整
割り当てるInput信号のミックスレベルを調整します。
調整範囲：[0～100]



【CH設定画面】

① スピーカーの選択

各Output CHに接続する スピーカーの種類を選択します。

② 出力のON/OFF設定

各Output CHの出力に対してON/OFFを設定できます。
OFFに設定したOutput CHは音声信号が出力されません。

③ ゲイン調整

各Output CHのゲインを設定します。
調整範囲：[−60.0 dB ~ 0.0 dB]

④ 正相/逆相切替ボタン

各Output CHの位相を切り替えることができます。



：正相



：逆相

⑤ Crossover設定

各Output CHのクロスオーバーを設定できる画面へ移動します。

⑥ Linkボタン

他のOutput CHとEQ設定を同期させる場合に使用します。
リンクさせる場合、リンクモードによって動作が変わります。

コピーモード：

操作中のCHのEQ設定がリンク先のOutput CHのEQ設定にコピーされます。

連動モード：

リンクしているCHの各バンドID同士の差分を維持したままゲイン値を調整できます。

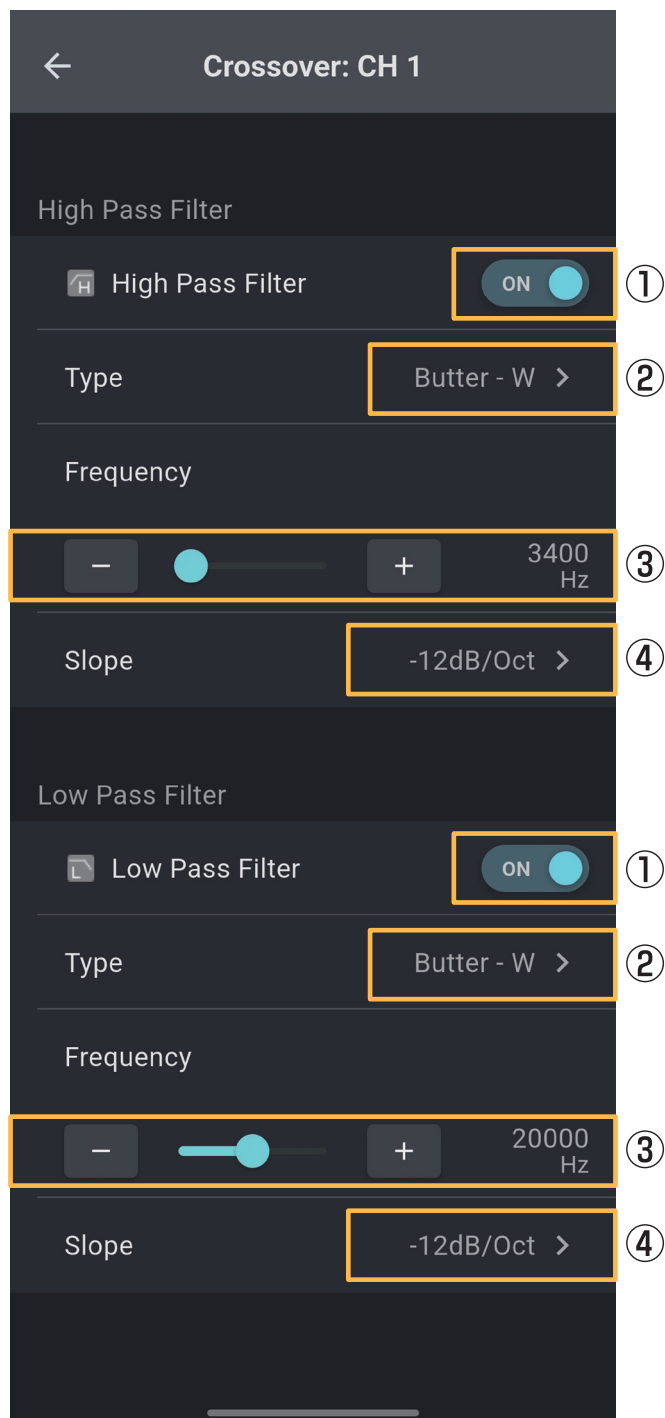
PEQの場合、周波数設定,Q値,PEQの種類は連動しません。



：Linkなし



：Linkあり（例：CH 1とリンクしている状態）



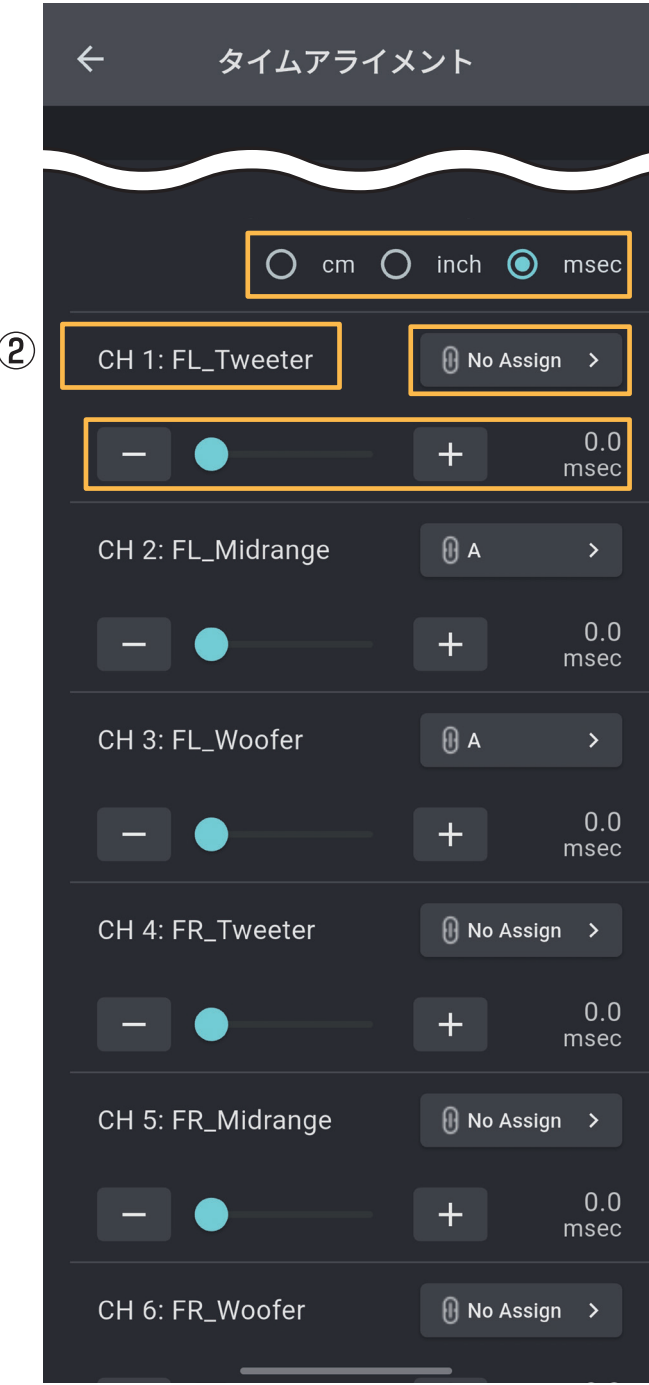
【Crossover設定画面】

① ハイパスフィルター/ローパスフィルターの設定
フィルター機能のON、OFFを設定します。

② フィルター種類の設定
フィルターの種類を選択します。
以下から選択できます。
[Butterworth、Bessel、Linkwitz-Riley]

③ カットオフ周波数の設定
カットオフ周波数を設定します。
調整範囲：[20 Hz ～ 40 kHz]

④ スロープの設定
フィルターのスロープ特性を設定します。
調整範囲：
Butterworth : [−6、−12、−18、−24、−30、
−36、−42、−48 dB/Oct]
Bessel : [−6、−12、−18、−24、−30、
−36、−42、−48 dB/Oct]
Linkwitz-Riley : [−12、−24、−36、−48 dB/Oct]



【タイムアライメント設定画面】

- ① 調整単位の設定
ディレイ値を設定する単位系を選択できます。
[cm、inch、msec]
- ② CH番号とスピーカーの種類
CH番号と設定されたスピーカーの種類の名称が表示されます。
- ③ Linkボタン
他のOutput CHと設定値を同時変更する場合に使用します。リンクさせる場合、現在の設定値および他のCHとの差分を保持したままディレイ値を変更することができます。
グループは[A, B, C, D, E]から選択できます。
- ④ ディレイ値の設定
ディレイ値を設定できます。
調整範囲：[0 cm～680 cm]
[0 inch～268 inch]
[0 msec～20 msec]

No Assign > : Linkなし

A > : Linkあり（例：グループA）

※ ディレイ値の計算方法 (cm表示の場合)
リスニングポイントから各スピーカーの距離を測定します。一番遠いスピーカーの距離を基準とします。
基準スピーカーから各スピーカーとの距離の差分がディレイ値となります。
<計算例> リスニングポイントからの距離がCH1(100 cm)、CH2(50 cm)、CH3(110 cm)、CH4(40 cm)、CH5(180 cm)の場合、一番遠いスピーカーCH5(180 cm)を基準とします。
CH1に入力する値：①180 cm － ②100 cm = ③80 cm

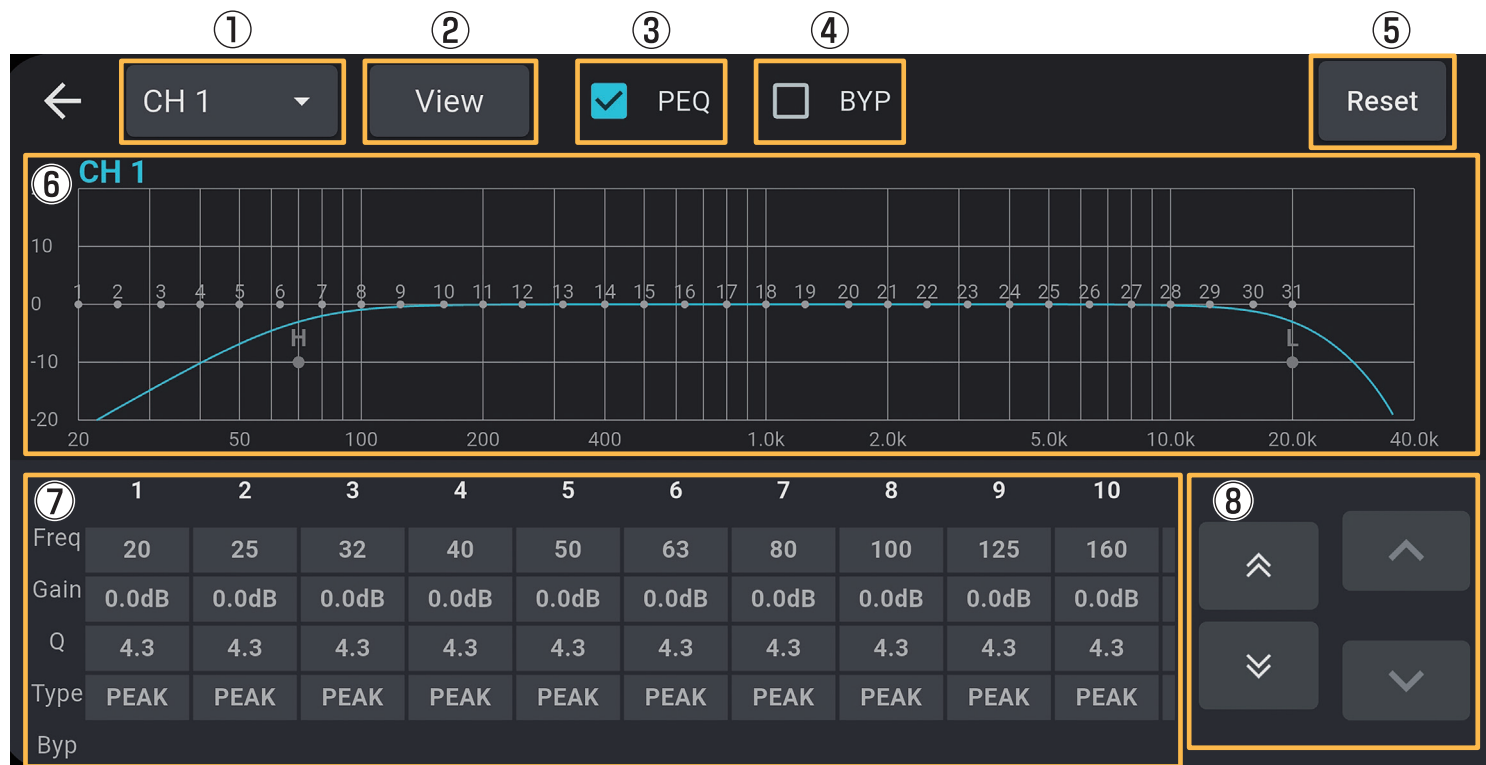
↑ ↑ ↑
1番遠いスピーカー CH1の距離 CH1に入力するディレイ値

②ディレイを設定するCH →

Output	実 測 [cm]	一番距離が遠い スピーカーからの差分 [cm]
CH1	② 100.0	③ 80.0
CH2	50.0	130.0
CH3	110.0	70.0
CH4	40.0	140.0
CH5	① 180.0	0.0

① 1番距離が遠いスピーカー → を基準にする

← ③入力するディレイ値



【EQ設定画面】

① 調整CHの選択

EQを調整するCHを選択します。

② 表示CHの選択

グラフに表示するCHを選択します。

③ パラメトリックイコライザーON/OFFボタン

パラメトリックイコライザーを有効にする場合に選択します。
デフォルトはグラフィックイコライザーモードです。

④ バイパスボタン※4

EQ設定を一時的に無効化する場合に選択します。

⑤ リセットボタン

EQ設定をデフォルトに戻す際に選択します。

⑥ 描画エリア

各CHの調整状況が表示されます。

⑦ EQ詳細設定欄

各バンドのEQの詳細設定ができます。

⑧ 調整ボタン

EQの詳細設定をする際に使用できます。

■ EQ詳細設定欄

EQの詳細設定を行うエリアです。

バンドID番号 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
周波数設定 →	Freq 20	25	32	40	50	63	80	100	125	160	⏶	⏴
ゲイン設定 →	Gain 0.0dB	1.0dB	0.0dB	0.0dB	0.0dB	0.0dB	0.0dB	0.0dB	0.0dB	0.0dB	⏷	0.0dB
Q値設定※1 →	Q 4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.1	4.3	4.3	4.3	4.3	⏵	⏵
PEQの種類選択※2 →	Type PEAK	PEAK	PEAK	PEAK	PEAK	PEAK	PEAK	PEAK	PEAK	PEAK		
バイパス設定※3、※4 →	Byp 0←											

※1 Q値はパラメトリックイコライザーを有効にした場合に調整できるようになります。

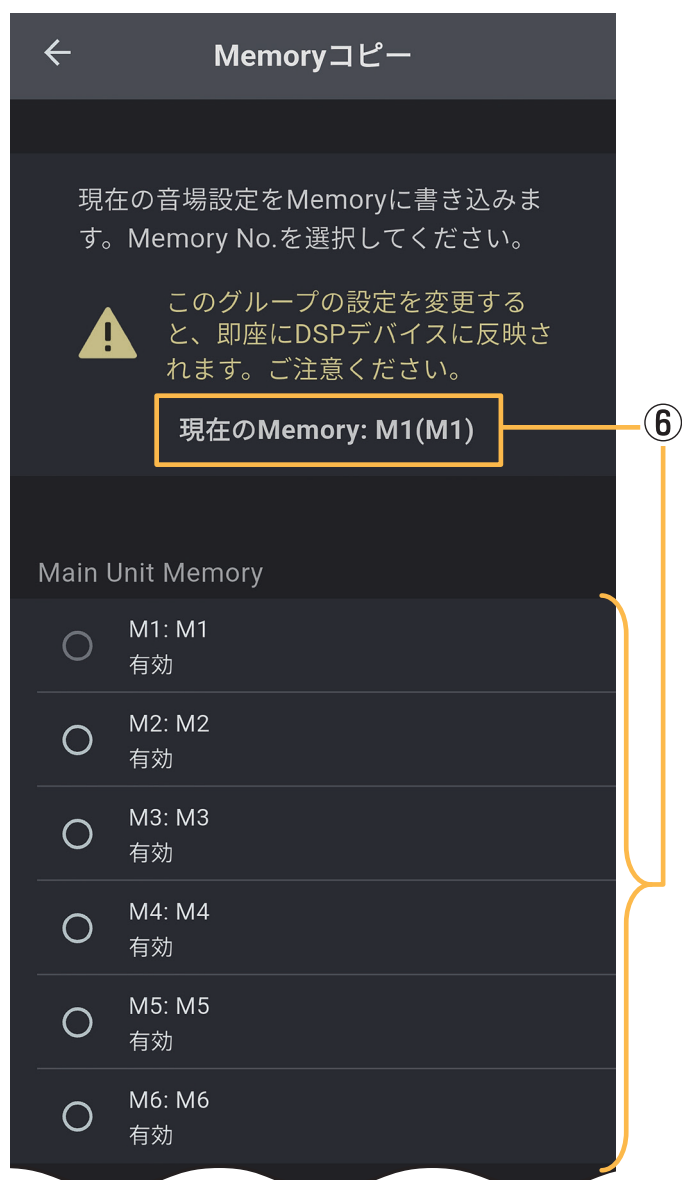
※2 PEQの種類は[PEAK、AP、LS、HS]が選択できます。

※3 各バンドID番号のEQ設定を一時的に無効化できます。

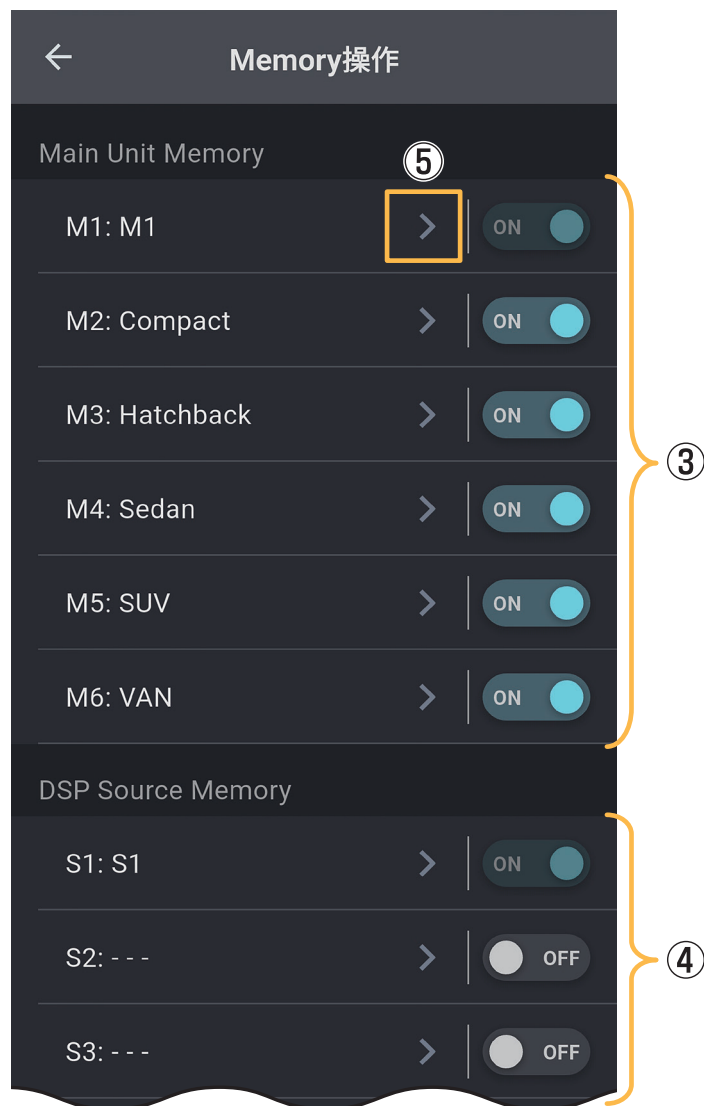
※4 バイパス使用時はバイパスを解除するまでそれ以外の動作は使用できません。



【Memory設定画面】

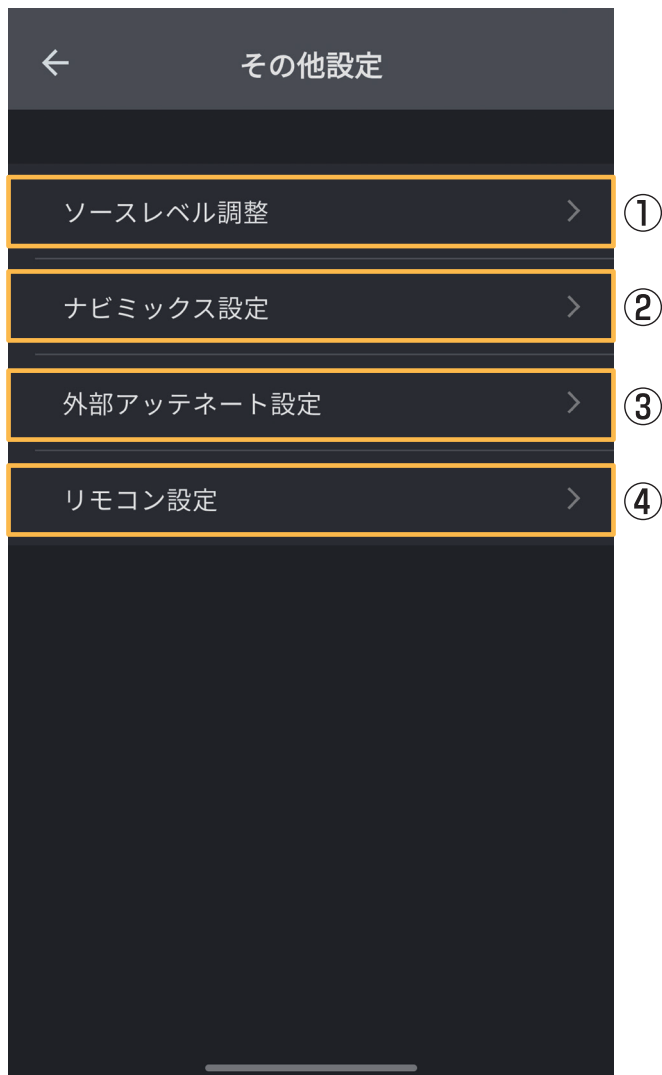


【Memoryコピー画面】



【Memory操作画面】

- ① **メモリー設定**
メモリーの設定画面に移動します。
- ② **メモリーコピー設定**
メモリーのコピー画面に移動します。
- ③ **メインユニットメモリー**
メインユニット専用のメモリーのON/OFFを設定できます。
最大6つまで設定することができます。
- ④ **DSPソースメモリー**
DSPソース専用のメモリーのON/OFFを設定できます。
最大6つまで設定することができます。
- ⑤ **コメント入力**
各メモリーにコメントを入力することができます。
- ⑥ **メモリーコピー**
現在選択されているメモリー番号の設定を任意のメモリー番号にコピーすることができます。



【その他設定画面】



【ナビミックス画面】

① ソースレベル調整

各ソースの入力レベルを調整できます。

② ナビミックス設定

ナビミックス機能の設定画面へ移動します。

③ 外部アッテネート設定

アッテネート設定のON/OFF、アッテネートレベルを調整できます。
製品付属コードのミュート線をコントロール信号線(車両のバック信号など)に接続した場合に使用することができます。

④ リモコン設定(DEQ-7000Aのみ)

付属リモコンの動作モードをショートカット動作に変更することができます。
製品付属コードのイルミ線にコントロール信号(車両のイルミ電源など)を接続した場合に、ディマーを設定することができます。

※ ショートカット動作：任意の音源ソースとメモリー設定の組み合わせを設定することで、音源ソースとメモリー切り替えを同時に行うことができます。

⑤ ナビミックスON/OFFボタン

ナビミックス機能のON/OFFを選択できます。

⑥ メインユニット検出感度設定

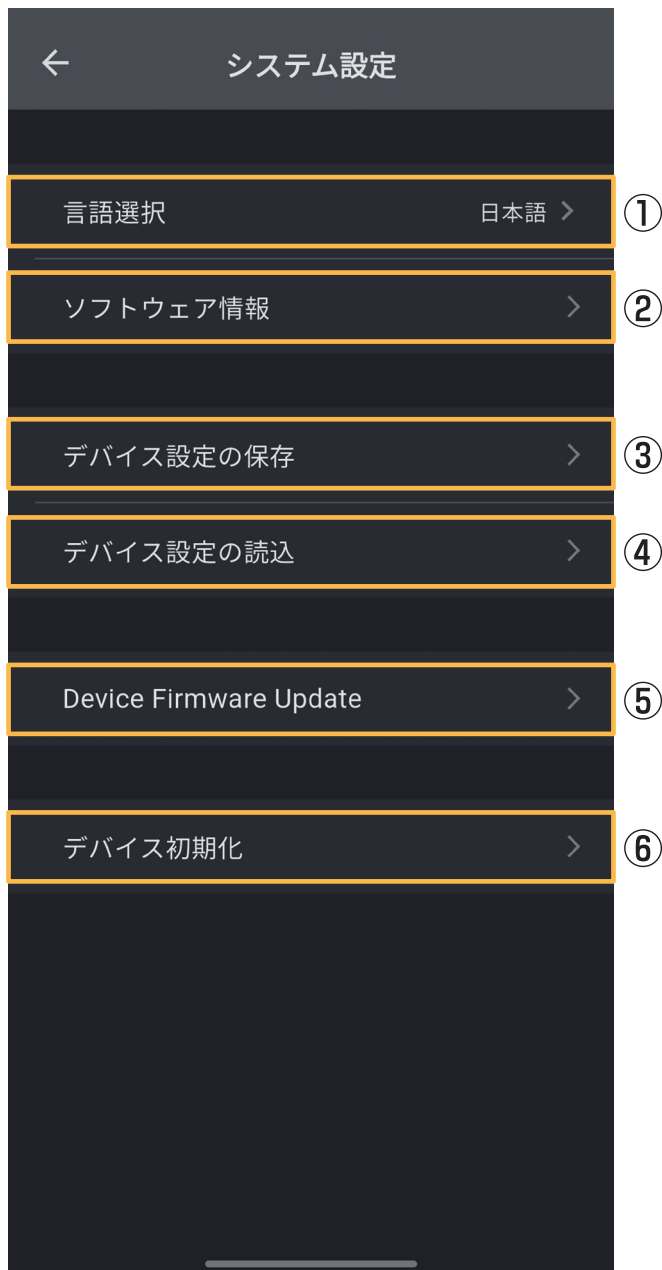
ナビミックス機能の検出感度を設定します。

⑦ DSPソースアッテネートレベル設定

ナビミックス機能有効時のDSPソースのアッテネートレベルを設定します。

⑧ リリースタイム

ナビミックス機能有効時、ナビ信号が非検出になってからのアッテネート有効時間を設定します。



【システム設定画面】

① 言語選択

日本語または英語を選択できます。

② ソフトウェア情報

ソフトウェア、ファームウェアのバージョン情報を確認できます。

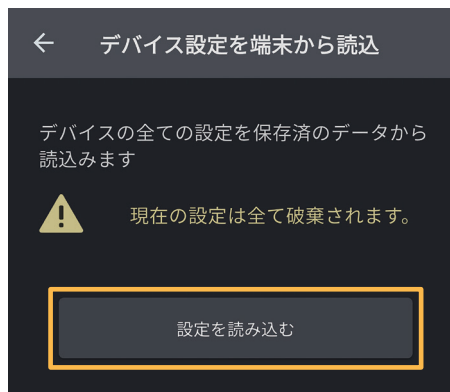
③ 設定の保存

デバイス設定を端末に任意の場所に保存することができます。

④ 設定の読み込み

保存してあるデバイス設定を読み込み、反映させることができます。

※現在の設定は全て破棄されます。



車種別チューニングデータの読み込み方法 (DEQ-2000Aのみ)

代表車種のセッティングデータを読み込むことができます。あらかじめホームページより設定ファイルをダウンロードしておきます。

[設定を読み込む]を押してスマートフォンのファイル管理アプリが表示されたら、ダウンロードした「xxx.bin」*ファイルを選択することで、車種専用チューニングを反映することができます。

※"xxx"の部分は車両データごとに異なります。

※車種専用セッティングデータはドライバーポジションでの音響チューニングになっております。

※現在の設定データが上書きされます。必要に応じて、"デバイス設定の保存"から、設定データを保存することをお勧めします。

⑤ デバイスファームウェアアップデート

本体のファームウェアアップデートを行うことができます。

⑥ デバイスの初期化

工場出荷状態に戻すことができます。



- ① セグメントディスプレイ
DSPソースのボリュームやメモリ番号が表示されます。
- ② 電源/モード表示インジケータ
現在の動作モードが点灯します。
- ③ ロータリエンコーダー
各種操作を行う際に使用します。
- ④ Bluetoothペアリングボタン
Bluetoothオーディオ機器を接続する際に使用します。

■ ロータリエンコーダーの操作

1回押すごとにモードが切り替わります。
[VOL → SRC → MEM → BASS → VOL に戻る]

■ DSPソースのボリューム調整

1回押すごとにモードが切り替わります。
"VOL" 点灯時に回すことでDSPソースのボリュームを調整できます。

■ ミュージックソース選択

"SRC" 点灯時に回すことでミュージックソースを選択できます。
[M/U → Bluetooth → SPDIF → USBオーディオ → RCA※1 → M/U に戻る]

※1 デバイス設定画面のメインユニット選択でスピーカー入力を選択し、AUX入力を有効にした場合に選択できます。
AUX入力が無効の場合はスキップされます。

■ メモリー選択

"MEM" 選択時にメモリーを切り替えることができます。

■ Bassレベル調整

"BASS" 選択時にBASSレベルを調整できます。

■ Bluetoothオーディオ機器のペアリング

ボタンを押すことでペアリングモードに移行します。Bluetoothオーディオ機器から "Pioneer DEQ-7000A Aud" を選択して接続してください。

※ LEDは、ペアリング中に点滅、接続中は点灯します。

■ ショートカット動作

デバイス設定でリモコンモードをショートカット動作に設定している場合、ロータリエンコーダーを1回押すとショートカット動作モードになります。

"ショートカット選択" で設定した番号のソースとメモリーの組み合わせに切り替えることができます。

[VOL → ショートカット番号選択 → BASS → VOLに戻る]

リモコンはDSP Controllerに接続している際には、操作できません。

更新履歴

- 2025年 7月22日 : 初版
- 2025年 9月12日 : EQのLS、HS対応による修正
- 2026年 1月 5日 : 「スタートアップガイド」追加
EQリンク差分変更機能の追加、他説明文の軽微修正

◀ 目次へ